14年1月刊行

日本女性差別事件資料集成 10

平等を求め立ちあがった女性たちの比類なき裁判資料

母性保護事件資料Ⅱ

解題：中野麻美（弁護士）

全9巻B5判・上製本　別冊1
総ページ数3932頁
本体価格250,000円　＊分売不可
ISBN978-4-86369-301-2

すいれん舎

本シリーズの刊行趣旨

『日本女性差別事件資料集成』は差別と闘ってきた人々の詳細なドキュメントである。原告から提供された裁判資料とその関連資料を忠実に復刻し、それぞれの事件の現代的意味を考察するとともに、女性の権利の進展を俯瞰しようとするものである。

本資料集の特色

1 原告、代理人、支援者たちから提供された貴重な裁判資料

民事事件資料の裁判所での保存期間はわずか5年。判決文のみが50年保存。全国の原告、代理人、支援者を訪ねて資料を収集、裁判所にさえ存在しない文書など貴重な裁判資料、関連資料を多数収録。

2 母性保護訴訟などテーマ別に事件を収録

財団法人21世紀職業財団が編纂している『女性労働の分析』に準じて事件を分類、同書に掲載された事件についてはほとんど網羅。第10期は母性保護事件を4事件10判決にわたる裁判資料と法廷外資料を収録。事件別資料は下級審から上級審に向けて時系列順に配列。

3 生休、産休、育休など母性保護の権利を争った歴史的訴訟資料

生休、産休、育児時間等を不就労時間として稼働率80%以下の者を賃金引上げ対象者から除くことを争った日本シェーリング事件。一審から最高裁までの裁判資料を網羅。産休と育児時短を就労とみなさず出勤率90%に満たないとして賞与を支給しなかったことを争った東朋学園事件。一審から差戻し高裁判決まで収録。産休、育児休業取得後に担当職務の変更とそれにともなう賃金減額を争ったコナミデジタルエンタテインメント事件。一審資料と確定した高裁資料まで掲載。

4 判決文のほか裁判資料を数掲載

裁判資料は判決文のほか訴状、答弁書、準備書面、告陳述書などを収録したほか、判決に大きな影響を与鑑定意見書についてもできる限り掲載した。さらに企準備書面についても積極的に収録した。

5 法廷外資料も収録

裁判闘争を支えた運動、組織団体(各事件を支える会働組合)などの会報、報告書等を収録。法廷外での闘ついても軌跡が追えるように努めた。さらに原告本人述書などもできるだけ収録した。

6 詳細な資料総目次を作成

別冊解題資料に丁寧な解題を付したほか、詳細な資目次を作成し利用者の便をはかった。

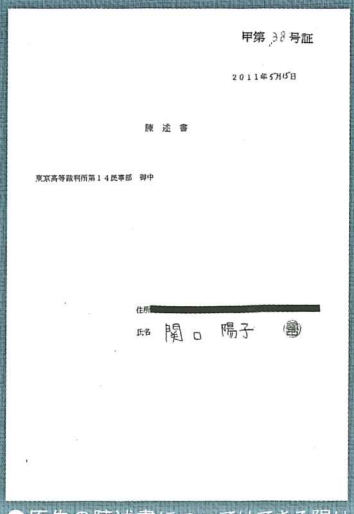
10期収録資料一覧

事件名	裁判所	判決日・和解日	判決・和解	巻構成	訴状・控訴状・上告理由書	答弁書	準備書面	鑑定意見書	判決
日本シェーリング賃金請求事件	大阪地裁	1981年 3月30日	判決	1・2	○	○	○		○
	大阪高裁	1983年 8月31日	判決	3	○	○	○		○
	最高裁	1989年12月14日	判決	4	○	○	○		○
	大阪地裁	1991年 3月19日	和解	4					
エヌ・ビー・シー・工業 未払賃金等請求事件	東京地裁八王子支部	1974年 5月27日	判決	4					
	東京高裁	1980年 3月19日	判決	4					○
	最高裁	1985年 7月16日	判決	4					
東朋学園事件	東京地裁	1998年 3月25日	判決	5・6	○	○	○		○
	東京高裁	2001年 4月17日	判決	6		○	○	○	○
	最高裁	2003年12月 4日	判決	7	○	○	○		○
	東京高裁	2006年 4月19日	判決	7			○		○
	最高裁	2007年12月21日	決定						
コナミデジタルエンタテインメント 育児休業差別事件	東京地裁	2011年 3月17日	判決	8	○	○	○		○
	東京高裁	2011年12月27日	判決	9	○	○	○	○	○

●日本シェーリング事件、最高裁勝利報告集会

●日本シェーリング事件、シェーリングドイツ本社に「子どもを産んだら賃上げなし」

●日本シェーリング事件、うれしい大阪地裁勝利判決


甲第 38 号証

2011年5月15日

陳 述 書

東京高等裁判所第14民事部 御中

住所 [redacted]

氏名 関口 陽子 ㊞

●原告の陳述書についてはできる限り収録した

大阪地方裁判所
第五民事部 御中

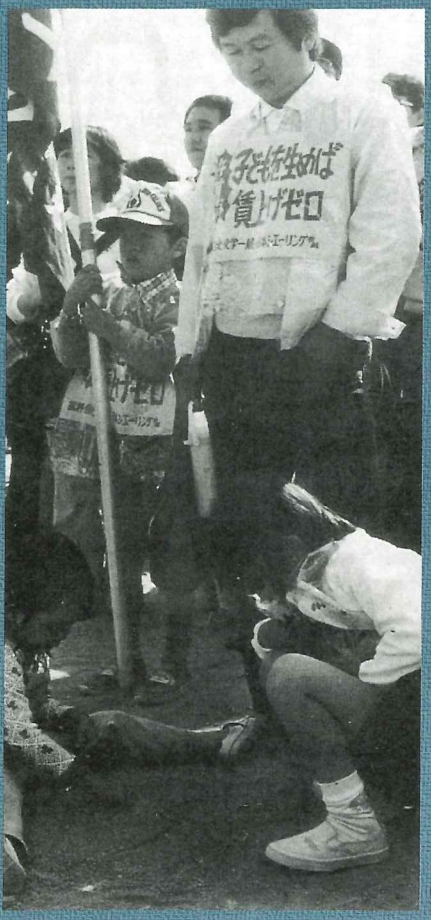
岡 清水 伸 郎

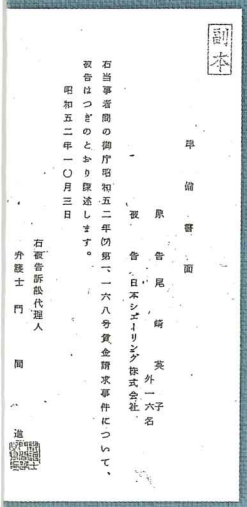
●裁判資料

証人調書	証拠資料	法廷外運動資料
		○
		○
		○
		○
		○
○		
○		
○		
○	○	○
○	○	○

●エヌ・ビー・シー工業（中野篩絹）の原告と労働組合のみなさん

のドイツ語横断幕を持って





副本

準備書面

原告 尾崎 英子 外一六名

被告 日本シェーリング株式会社

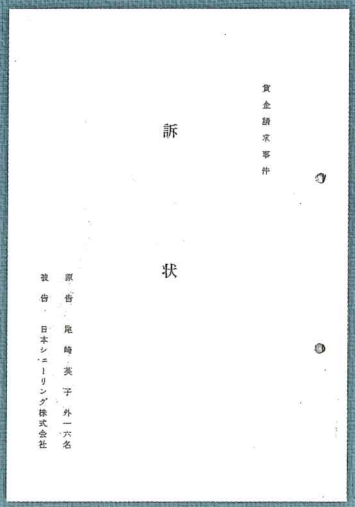
石当事者間の御庁昭和五二年(ワ)第一、一六八号賃金請求事件について、被告はつぎのとおり陳述します。

昭和五二年一〇月三日

石被告訴訟代理人

弁護士 門間 進

の主体は準備書面



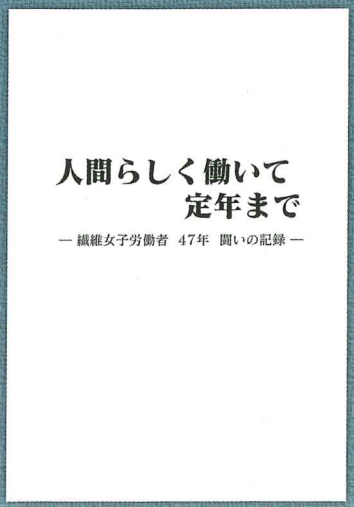
賃金請求事件

訴状

原告 尾崎 英子 外一六名

被告 日本シェーリング株式会社

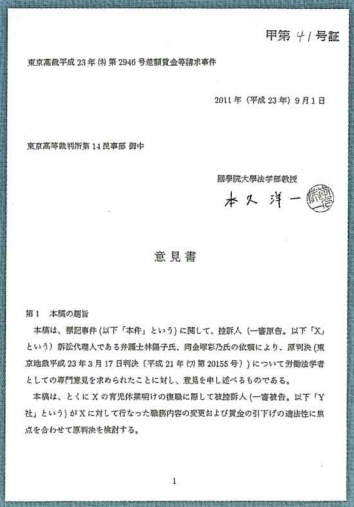
●訴状、控訴状等についてもできる限り掲載した



人間らしく働いて定年まで

— 繊維女子労働者 47年 闘いの記録 —

●原告や支援団体から提供された法廷外の資料、記録なども収録



甲第41号証

東京高裁平成23年(ネ)第2946号差額賃金等請求事件

2011年（平成23年）9月1日

東京高等裁判所第14民事部 御中

勝學院大學法学部教授

本久洋一

意見書

第1 本稿の趣旨

本稿は、標記事件（以下「本件」という）に関して、控訴人（一審原告。以下「X」という）訴訟代理人である弁護士林陽子氏、同金塚彩乃氏の依頼により、原判決（東京地裁平成23年3月17日判決（平成21年(ワ)第20155号））について労働法学者としての専門意見を求められたことに対し、意見を申し述べるものである。

本稿は、とくにXの育児休業明けの復職に際して被控訴人（一審被告。以下「Y社」という）がXに対して行なった職務内容の変更および賃金の引下げの違法性に焦点を合わせて原判決を検討する。

1

●判決に大きな影響を与える鑑定意見書はできる限り収録した

歴史を切り拓いた貴重な資料

浅倉むつ子

（早稲田大学大学院法務研究科教授）

女性差別に挑んできた数多くの訴訟がある。これらは、原告たちと法律家が織りなす高い志の結実といってよい。彼女たちは、「そんなことは訴訟にはならない」、「裁判所で勝つのは無理」、「法理論的には不可能」と言われながらも、一歩一歩、歴史を切り拓いてきた。「差別は自分たちの代で終わらせたい」、「次世代に明るい未来を残したい」、「差別を否定できない法律では意味がない」、「裁判に勝つことだけが目的ではない」、「大切なのは人としての尊厳と誇り」。そんな女性たちの声と願いは、法の世界を動かしたのである。

訴訟の裾野は着実に広がり、結婚退職制・若年定年制から、昇進・昇格差別やセクシュアル・ハラスメントに至るまで、大きな流れを作りあげてきた。そこに蓄積されてきた裁判資料は、日本社会の現実をもっとも雄弁に物語っている。このたび、これらの貴重な資料を集大成するという壮大な企画が現実化した。大変な朗報である。

差別というものは形を変えながらも、今もなお社会の根底に根強く存在している。だからこそ、先人たちの貴重な努力を風化させてはならない。これらの資料は、間違いなく多くの人を感動させるだろう。私も、差別撤廃のために積み上げられてきた一つひとつの言葉と行動を、この資料を通じて、改めて深くかみしめたいと思う。

権利を闘いとってきた女たち

上野千鶴子

（立命館大学大学院特別招聘教授）

日本では、法律が世の中を変えることは、めったにない。法律ができたときには、社会通念も慣行も、とっくに変わっている。

それを闘いとってきたのは、差別をうけ、それを差別とはっきり認識し、法廷で闘ってきた女性たちと彼女たちを支えた専門家や支援者たちだ。判例が積み重なり、慣行が変わってから、あたかも事実を追認するかのように、ようやく法律が現実に追いつく。女性の採用差別や昇進差別も、結婚退職制も、若年定年制も、差別定年制も、そうやってなくなっていったものだ。85年に男女雇用機会均等法ができて、職場の女性差別を禁止したとき、すこしも新しさを感じなかったのは、その程度の禁止なら、裁判闘争でとっくに獲得していたからだ。

権利も制度も、闘わなければ手に入らない。与えられたときには、求めたものとは違うものをさしだされている。そして手にいれたと思ったはずのものも、いつのまにか足もとを掘り崩される。男女平等が空気のようにあたりまえだとおもっている若い女たちにも、それが先輩の女たちのどんな血の滲むような闘いに支えられているかを、たまにはふりかえってほしい。

推薦者（五十音順）

天野正子（東京家政学院大学学長）
家田愛子（札幌学院大学教授）
遠藤公嗣（明治大学教授）
奥平康弘（東京大学名誉教授）
神長百合子（専修大学教授）
西谷　敏（大阪市立大学名誉教授）
林　弘子（宮崎公立大学学長）
平澤克彦（日本大学教授）
森ます美（昭和女子大学教授）
森まゆみ（作家）
脇田　滋（龍谷大学教授）
和田　肇（名古屋大学教授）

《本シリーズの全体構成》

【既刊】

1期 日本弁護士連合会　両性の平等に関する委員会資料
2008年11月●本体価格250,000円

2期 結婚・出産退職制、若年定年制、差別定年制等事件資料
2009年9月●本体価格250,000円

3期 賃金差別事件資料Ⅰ
秋田相互銀行不当利得金返還請求事件ほか
2009年12月●本体価格250,000円

4期 賃金差別事件資料Ⅱ
2010年10月●本体価格250,000円

5期 賃金差別事件資料Ⅲ
2011年9月●本体価格250,000円

6期 賃金差別事件資料Ⅳ
2011年12月●本体価格250,000円

7期 非正規社員解雇・差別事件資料Ⅰ
2012年8月●本体価格250,000円

8期 非正規社員解雇・差別事件資料Ⅱ（派遣社員雇止め事件）
2012年12月●本体価格250,000円

9期 母性保護事件資料Ⅰ
2013年8月●揃本体価格240,000円

10期 母性保護事件資料Ⅱ
2014年1月●揃本体予価250,000円

【刊行予定】

11期 セクシュアル・ハラスメント事件資料
2014年6月●揃本体予価250,000円

《販売対象》

●**経営学部：**労務管理　●**家政学部：**ジェンダー、生活科学、生活経済
●**文学部：**、フェミニズム、女性史、婦人運動　●**法学部：**労働法、民法、憲法、人権法、法哲学
●**社会学部：**ジェンダー、女性学、社会運動、都市社会学、地域社会学　●**経済学部**

株式会社 すいれん舎
〒101-0052　東京都千代田区神田小川町3-14-3-601
TEL.03-5259-6060　FAX.03-5259-6070
E-mail　masato@suirensha.jp

取扱店